価値創造プロセス

大建工業グループは、独自の強みを活かした事業活動を通じて、SDGs (持続可能な開発目標)をはじめとする 社会課題の解決に貢献することにより、持続可能な社会の実現と、経済的・社会的価値の創出を目指しています。

長期ビジョン「GP25」 ▶ P.33-34

DAIKEN地球環境ビジョン2050

▶ P.25-26

目指す姿 グループ企業理念の実現

▶ P.3



価値創造の源泉

財務基盤

株主資本:740億円 有利子負債:297億円

生産体制

設備投資額:39億円 生産拠点:19拠点

研究開発

R&Dセンター 研究開発費:17億円

人財

連結従業員数:3,564名

顧客基盤

住宅・建築業界から各種メー カーまでの幅広い顧客

天然資源

木質原料使用量(千t) 国内: 214 海外: 1.391 総エネルギー投入量(千GJ) 国内: 2,559 海外: 4,633 水資源投入量(千m³) 国内: 1,838 海外: 927

強み4 一貫体制

▶ P.23-24

ビジネスモデルと強み

素材・建材の開発から 施工・工事までを手掛ける

強み❸ 顧客基盤

プロフェッショナルな 顧客との信頼関係

強み2

製品展開力 高機能製品で新たな スタンダードを生み出す

強み① 研究開発力

持続可能な素材の可能性と 安全・安心・健康・快適な 空間を追求

人財戦略

事業基盤 財務戦略

ガバナンス

強みを価値創造につなげる

事業·市場戦略

素材事業

建材事業

事業別:市場別戦略

P.39-40

エンジニア

リング事業

海外市場

公共・商業建築分野

産業資材分野

住宅リフォーム・

リノベーション市場

国内新築住宅市場

サステナビリティ基本方針・グループ行動指針

経営資源の投入

マテリアリティ 中期経営計画 ・資源循環・循環型社会の実現

GP25 3rd Stage(2022~2025年度) ▶ P.37-38

強みを活かした製品の提供

▶ P.15-20

素材事業

木質資源や鉱物資源を有効活用し、 さまざまな機能を付与した素材を提供

単板・LVL
畳おもて
ダイロートン

建材事業

安全・安心・健康・快適という視点で 空間を形づくる高機能な建材を提供

床材	音響製品
ドア	収納
階段	造作材

エンジニアリング事業

公共・商業施設から住宅まで 幅広い建物の内装工事を中心に、 素材・建材の機能を最大限に引き出す 空間づくり

ビル・オフィス内装工事

住宅リフォーム工事

マンションリノベーション

・働きやすさ、働きがい向上による多様な人財基盤

・ニューノーマル時代のユーザーニーズ

経済的・社会的価値の創出

事業を通じた価値創造(CSV)

▶ P.27-32

01 木質資源の活用によるカーボンニュートラルへの貢献

02 国産木材の活用促進

03 未利用資源の有効活用

04 安全・安心・健康・快適な空間づくり

05 省施工製品及び工法の開発

2022年度

財務成果

売上高: 2,288億円 営業利益: 98億円 EBITDA*: 168億円

103億円 親会社株主に帰属する当期純利益: ROE: 12.9% 28億円 配当金総額: 配当性向: 27.8%

※営業利益+減価償却費+のれん償却額

非財務成果

木質素材事業による炭素貯蔵量: 739千t-CO₂/年 床基材における国産木材の利用率: 45%

温室効果ガス国内外総排出量(2021年度比): △4.0%

※2022年度

21 DAIKEN GROUP REPORT 2023 DAIKEN GROUP REPORT 2023 22